

南大須賀自治会 80世帯

加藤 修^{しゅう} 二^じさん(67歳)



丈夫なごみ箱を5カ所に設置



「自治会費を有効に使った活動を」

ここは民間の宅地分譲地です。平成6年に河戸川自治会から独立したときは、まだ30世帯弱でした。お互いのつきあいが短く、集会所もないため、コミュニティー意識がやや希薄だと感じています。反対意見もありますが、個人的には集会所建設が将来の希望です。

地区の行事としては、年に数回、下水側溝の泥上げ、公園や道路脇の草刈りなどを行っています。日曜日の早朝に行いますが、ほぼ全世帯が参加してくれています。

子どもが多く、花壇づくりや公園の草取り、子ども七夕やラジオ体操などの子ども会活動は活発です。自治会活動の活性化のためにも若い人の積極的な参加を願っています。

自治会としては、子どもの通学路でもある道路の側溝整備が一番の課題です。

まちかど

ウォッチング



「バスケットの街」の看板出現！

琴丘能代道路の琴丘森岳ICから能代南IC間17.1kmが、名称を秋田自動車道として3月30日に開通しました。八竜町との市町村境界には「バスケットの街のしる」を宣伝する市町村表示標識が設置されました。

いつも元気



春休み中、いろんな講座に参加したんだ。藤でかごを作ったり木の作品を作ったりと楽しかったな。(3/28 子ども館で)

のーろ逍遙

歴史と民俗のあいだ

1

百万遍 (一)

例年、春の送り彼岸の次の日、市内各地区で百万遍の行事が行われます。各家々から一人ずつ集まって、地獄絵や涅槃図などの掛け図を掛け、その前に祭壇をつくりローソクを立て、お菓子や赤飯などを供えます。その前に、集まった人々が車座になり、音頭取りが伏せ鉦を叩きながら念仏を唱え、それに合わせて全員が念仏を唱えながら、大きな数珠を回していきます。数珠の数力所には大きな珠があり、それが自分の前に来たときに高く持ち上げ、願い事をします。珠の数は百八個が原則ですが、二十人もの人が回すと足りないためかなり多くなります。上母体の百万遍の数珠は四百四十個、道地の場合は五百個を超えています。

数珠は、モクゲンジの木片に穴を開けて丈夫な麻縄を通して作られます。数珠は百回ほど回すため、道地では数を間違えないように一回ごとに札を繰っていく人がいます。参加する人は六十から七十歳代のおばあさんが中心で、八十歳代も珍しくありません。写真は鶴形の百万遍で、海蔵寺で行われています。機織では神明社で念仏を唱えて数珠回しをしたあと、集落内を回ります。柏子所でも同じで、集落の入り口には御幣を立てます。宗教的行事ではありますが、集落内の連帯を深め、疫病の侵入を防ぐ意味もあります。



※「能代市の文化財」は前回で終了しました。新連載の『歴史と民俗のあいだ』もよろしくお願ひします。